



サロンあべの

〈サロン・あべの〉5月の出会い

「長居植物園の散策

「ハーブ園を楽しむ」



初夏の日差しに目を細目たくなる平成24年5月19日(土)午後1時〜4時、〈サロン・あべの〉5月の出会いは、例年のごとく大阪市立長居植物園の散策となりました。

「大阪市立長居植物園の散策「ハーブ園を楽しむ」と題して、大阪市東住吉区にある長居公園内の長居植物園正面入口に参加者が集合しました。参加者が集まるのを日陰で待って、1時30分頃に植物園内へ入っていきましました。園内に入るとパンフレットや開花情報の案内をいただきました。

・植物園の散策

・バラ園

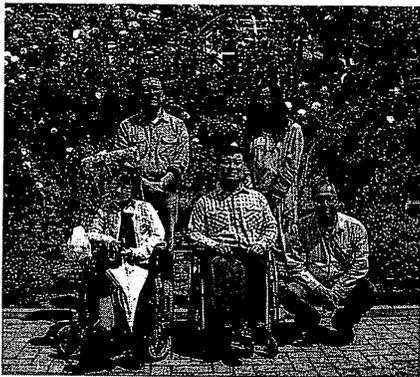
バラ園は面積約7,000㎡の広々とした空間で、ローズ・オオサカをはじめ様々なバラが、植えられています。また、スタンダード仕立てや、つるバラのポール仕立て、トレアス仕立て、アーチ仕立てなど、140品種、約2600株のバラが華麗に咲き競います。バラ園内にあるテラスからの眺めもまた見事です。

・ハーブ園

バラ園の後、ハーブ園を散策しました。ハーブガーデンとハーブの見本園。ローズマリー、

セージ、ミントなど1000品種のハーブが楽しめます。しかしながら、あいにく、ハーブ園の小屋が午前中ということで、ハーブティーを楽しむことはできませんでした。周囲では家族連れで来られている方が写真を撮ったり、マイマイが日差しを避けていました。

植物園内を一巡して、『花と緑と自然の情報センター』へと向かいました。参加者は、センター内のガーデンテラスでお茶の時間を楽しんだあと、参加者の方々にご感想をいただきました。



○本日は、ありがとうございます。

ハーブ園では、妻がよく家で育てているものがありました。タイ料理のトムヤムクンによく使っているレモングラスやバクチーがありました。

バラ園では、様々なバラが咲いています。いつもそれぞれのバラの匂いを嗅いでいます。匂いがいいものもありましたが、

それぞれにいい香りがします。あまり花に興味はありませんが、たまにはいいかなと思います。
加賀谷 正

○長居公園に集合した時、お天気が良すぎて、暑くないか？不安でしたが、風が爽やかで木陰に入ると結構気持ちよく、ホッとしました。

バラやしやくなげ等の植物園に咲く色とりどりのお花を見ると、本当に心が癒されました。また、機会を作って公園をお散歩したいなと思います。
堤 あやか

○毎年、5月の出会いは長居植物園に来ていますので、今年は華やかな花は、後回しにして、地味なハーブを楽しみたいと思います。

ました。が、バラ園を通り抜けないとハーブ園には行けません。バラ園の入り口で出迎えてくれたのが、薄いピンク色の「桜貝」名のバラ。甘い香りが全体に漂い、バラ園へ心地よくいざなってくれました。数多くの色と香りを楽しんだ後のハーブ園は、本当にひっそりと日差しを受けていました。

富田慶子

○今年も晴天で暑い日でしたが、色とりどりの花を見る事が出来て良かったと思います。

バラを観た時、有名ブランドの名前を付けた(クリスチャンディオールなど)花があり、びっくりしました。印象に残ったのは、ポピー、特に赤い花の種類の豊富さでした。
平岡 太

○今日はとても良い天気で日焼けてしましました。バラ園の色とりどりのバラの花が鮮やかに咲き、花に近づき香りも楽しめました。
山村 貴司

植物園では、バラの花の匂いをかいだり、のんびりと過ごすことができました。園内

の池ではハナミズキやミズバショウも咲いていて自然を満喫した(サロン・あべの)5月の出会いでした。
(参加者5名 山村貴司)



美智子のこんな話

岸田美智子

ちょっと感動した情報!!

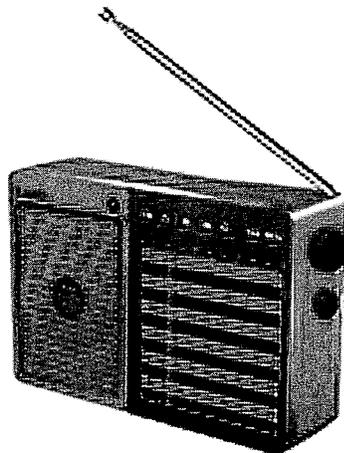
私は昨年の年末に目の手術をしたので、その日以来もう5ヶ月以上になります。好きだった新聞を取ることをやめました。現在は目の調子も良いので、また新聞を取っていいのですが、最近は時々ラジオを聴くことにしています。ラジオだと聴きながらでも、ヘルパーさんの動きを確認したり、やってもらいたい事を伝えたりできるので、私にとっては、とても便利だと気がつきました。そんなラジオを先日、めったに聴かない土曜のお昼ごろに聴いていると、「目の見えないことを考えよう」という番組が耳に入ってきました。私は、「へえ、こんな放送があるんだ」と集中して思わず

聴いてしまいました。その番組には目の見えない当事者と、東住吉区の郵便局の局長さんが出演されていて、郵便局として行っている視覚障害者へのサービスの内容について話されていました。その内容としては、振込みの連絡や、郵便通帳の毎月のお金の出入りなども、点字での通知ができるそうです。そして点字を入れたキャッシュカードも作れるそうです。私は思わず、「うーん！これはいいなあ。」点字は車イスと同じで、障害者の生活には無くてはならないものなのだから、とつても納得して感動してしまいました。でも視覚障害者の人に時々会いますが、点字のキャッシュカードを持っているとは、聞いたことがありません。

ているのかと心配するところです。もし、必要な方は、どんどんこのサービスを使って下さい!!

この番組に出演されていた視覚障害者の方も、こんなサービスがある事を知らなかったと言っておられました。とつても、もつたいない話だと思ったのでこのコーナーで書かせてもらいました。

ただ、このようなサービスも障害者から自分で郵便局に手続きしないと利用できないそうです。郵便局の窓口対応の方が、どれだけきっちり視覚障害者の方に伝えてくれ



物に縛られる

郷里で一人暮らしをしている母が言うには、高齢者が不便な自宅から離れて、たとえば快適な高齢者住宅に引っ越すことができないのは「たくさんの物が自宅にあるから」だという。つまり、狭い高齢者住宅には物が入りきららないというのである。

何がそんなにあるのかと思うのだが、高齢者が若いころから住んでいた家となると、途方もなく多くの物がそこに溜（た）まっているらしい。まして、その親の代から住んでいたような古い家となれば、その物の量は気が遠くなるほどだという。

「そんなもの、捨ててしまえばいいのに」とは、気楽な他人がいう言葉である。当の本人からすれば、そんなことは言われなくてもわかっていゝる。捨てられないから困っているのである。どうやったら捨てることができるか、という本

は、何冊もベストセラーになっている。みんな困っているのだ。捨てたくても捨てられないものは山ほどある。

とは言っても、母から聞くのは、その極限にあるような話だ。もちろん、ゴミ屋敷の話ではない。たぶん、いたって普通の家なのだろう。問題は、物を捨てずにとっておくというその理由のために、不便な自宅で残りの人生を終えるか、それとも所有物の一部を捨てて、その量を減らし、安心して暮らせる高齢者向けの住宅に住むかという選択をしなければいけないということである。

極端な言い方をすれば、物を守ってそのまま死ぬのを待つのか、それとも物を捨てて新しく生きるのか、という二つに一つの道なのである。恐ろしく思うのは、まったく意思をもたず、命もたない物理的な存在が、分別もあるオトナの人生を、ここまで圧倒し、支配してしまっていることである。しかも、その大部分は、他人の目からみれば、なんの魅力もないゴミに近いものかもしれないのだ。

なぜ、そんな（他人から見れば）ゴミのようなものが、高齢者から便利で快適な余生を奪ってしまうほどの力をもってしまうのか。

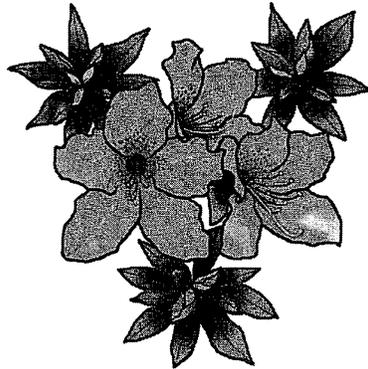
もちろん、その信じられないほどの強い力は、

その持ち主の心のなかから出ている。物には、たしかに意思はないが、持ち主の目から見れば、それは持ち主自身の心、それは欲かもしれないし、愛惜（あいせき）の思いかもしれないが、過ぎた日を懐かしむ気持ちなのかもしれないが、それを鏡のように反映しているのである。

とすれば、物を片付けること、捨てることは、自分自身の内面を整理することでもある。物の掃除や片付けだと思っから気が重くなる。そうではなく、自分自身と向かい合い、不必要になつた思いを削る瞑想の機会だと思えばよい。

自分は残された時間に何を求めているのか、自分自身は何でありたいのか。大げさなようだが、そんな根源的な問いかけを自らに問うことでは、物の魔力に打ち克ち、自由になる道はないと思う。

（知）



晴れのち晴れ

稲垣 恵雄

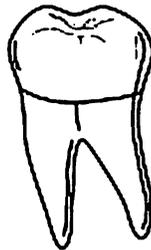
■訪問歯科

私は幼い頃からよく歯が抜けたり虫歯になったりして毎年のように歯医者に通っていた。これまでずっと家族の者やヘルパーさんに付き添ってもらっていたが、だんだん身体が弱ってきたので拝医者に行き辛くなってきた。

今年の1月頃にまた歯の調子がおかしくなってきたので、初めて近くのY歯科の院長先生と歯科衛生士さんに来てもらって治療を受けることになった。

Y歯科は“やさしさ”をモットーにしておられるだけにお2人とも物腰が低くて、優しい顔をされているので、こちらはリラックスした気分で治療を受けることができる。

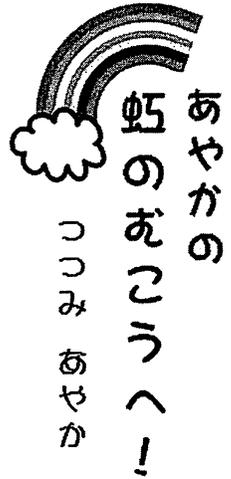
院長先生と歯科衛生士さんは週に1度来て下さっているが、その時、必ず道具の入った大きなバッグを持参される。そして先生の治療が始まる前に、衛生士さんが歯垢を取るために口中の洗浄をして下さる。先日、衛生士さんが私の口中を洗浄しながら「だんだんきれいに歯を磨くようになってきましたね」とおっしゃって下さった。うれしいお言葉である。



この間、上の入れ歯が欠けたので新しい入れ歯を作ることになった。当然ながら最初に型をとらなければならない。その時、粘土の入った歯型を口の中に入れるのだが、何度も

嘔吐くのである。それでも何とか型はとれたが先生は大変だったと思う。おかげさまで2週間後には新しい入れ歯ができ、何でもおいしくたべられるようになった。

このように居ながらにして歯の治療をもらえるのだから本当にありがたい。



あらためて自己紹介から

この会報では、はじめましてーになります。改めて自己紹介からはじめてみようと思います。

「サロンあべの」の近所にある会社の社会貢献活動の一環として、パソコンを使った会報編集のサポートや1ヶ月に1回行われる会合のお手伝いのボランティアとして、昨年からお邪魔しております。

毎月の会合で使われているコミュニケーションセンターも、私の勤めている会社の創業者が建てたものです。

入社してから、ずっと、この会社の本社でコンピュータ関連のお仕事に携わってきましたが、こちらに来るのは、今回が初めてです。

ボランティアを始めた動機

それでは、なぜ、ボランティアとしてお手伝いしようと思ったきっかけについてお話ししよ

うと思います。

今でこそ、会社ではOLとして働いていて、もちろん、こちらでも女性ボランティアのスタッフとしてお手伝いしているのですが……。

今から3年前までは、男性でした。入社してからこの3年前までは、サラリーマンだったのです。

こんな話をすると、なんだか、テレビのタレントさんとか、繁華街の飲み屋のおネエさまとか、日常生活からちよつと離れた世界の人みたいに思われたり、何よりも「えっ？」と驚かれる方も多いかも知れません。「性同一性障がい」と言う言葉は、マスコミなどを通して目にした方も多いと思いますが、私はその当事者の一人です。

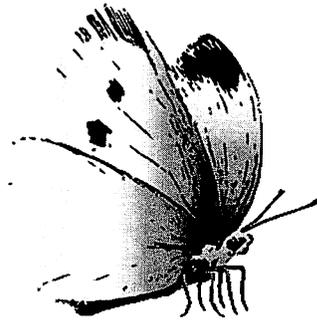
まだまだはつきりした原因は解っていないのですが、母親のお腹の中にいる頃、性ホルモンのバランスに異常が生じる事があり、身体に合った性ホルモンが脳に十分に行き渡らず、身体とは反対の性別と認識してしまう脳になるのではないかと、言う説が有力だと言われています。

挙動不審？小さな頃の思い出

いずれにしても、男の子で生まれてきた私は、

やっぱり小さな頃からどこか変わっておりまして、毎朝、私の母がお化粧している時、母に「口紅塗って〜」とせがんだり、幼稚園のひな祭りでひな人形がとても気に入ってしまつて、祖母に「ウチにもおひなさまあるの？」と聞いたら、祖母が天井裏の物置からひな人形を出してくれて大喜びしたとか、とにかく挙動不審な(?)子どもでした。

そんな行動に両親も心配して、私を剣道教室に通わせたりもしましたし、小学校のいじめっ子から「おかま」とか言われていじめられたりした事もあつて、女の子みたいな行動は決してやってはならない事として封印しました。これが長い間私の心の中にあつた「ベルリンの壁」の出現だったのです。(つづく)



お知らせ

<サロン・あべの> 7月の出会い

- 内 容：新疆（しんきょう）ウイグル自治区の
生活と文化
～ウイグルの伝統舞踊、ウイグルの歌なども～
- お客様：ジャミラ ウライムさん
- 日 時：7月21日（土）午後1時～4時
- 場 所：育徳コミュニティーセンター、2階・研修室
[大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
TEL06-6621-1901]
- 会 費：なし、
- 問合せ先：
- 問合せ先と申込み先：
TEL06-6691-1028（富田慶子）

○カンパ、はがき、お茶菓子、
宛名シールのご提供等、
ありがとうございました。

磯崎章一、井上礼子、稲垣恵雄、
風智恵子、平岡太、松村美鈴、
宮脇信子、山本芳輝、吉岡恵美子、
その他の方、（敬称略）

サロン・あべの毎月の感謝



7月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」7月の出会い

日時：7月15日(日)午後1時30分～4時

内容：「ふるさとを離れて」

故郷に戻りたい、けれど多くの方たちに
支えていただいたことに感謝しています。

ゲスト：酒井サヨ子さん

福島県梅葉町から大阪市淀川区に避難

場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3

会費：なし

問合せ先：淀川区社協TEL06-6394-2900

■「ウイズ東淀川」7月の出会い

日時：7月8日(日)午後1時30分～4時

内容：ウイズ東淀川と彩奏工房

(Art&Music Creators Atelier) の
舞阿楽廊(まいあがろう) Vol.2展とのコラボレ
ーション

「音楽やパフォーマンス披露」

*彩奏工房の問合せ先：森田真千子氏

[533-0005大阪市東淀川区瑞光3-5-31-1304、

TEL090-3940-0525]

場所：NPO法人自由空間クラブ(東淀川区淡路2丁目)

会費：なし

問合せ先：TEL06-6340-3082(鈴木昭二)

■「サロンにしよど」7月の出会い

日時：7月28日(土)

内容：未定

場所：未定

会費：未定

問合せ先：中本TEL090-9864-9678

■「サロンにし」7月の出会い

日時：7月14日(土)午後2時～4時

内容：バルーンアートでパンダや動物を作ろう！！

場所：西区在宅サービスセンター

[大阪市西区新町4-5-14西区合同庁舎6階

TEL06-6539-8075]

会費：なし

問合せ先：宮脇淳TEL090-3949-6973

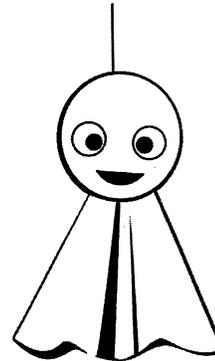
■「サロンいたみ」7月の出会い

日時：7月21日(土)午後2時～

内容：音楽遊び(いろいろな楽器を持って楽しめます)

場所：伸幸苑[伊丹市寺町6-150]

問合せ先：安藤れい子TEL072-784-1718



<サロン・あべの>Vol.312 発行：平成24年(2012年)6月16日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212
ホームページ：<http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/> 「サロン・あべの」でも検索できます